

2010年8月20日

NKS Jホールディングス株式会社

## NKS Jグループ37社が「生物多様性民間参画パートナーシップ」に参加

NKS Jホールディングス株式会社（社長 佐藤正敏）は、2010年10月からグループ会社36社と共に日本経済団体連合会等が推進する民間の参画プログラム「生物多様性民間参画パートナーシップ」に設立時参加者として参加いたします。

### 1. 「生物多様性民間参画パートナーシップ」とは

日本経済団体連合会、日本商工会議所及び経済同友会が、環境省、農林水産省、経済産業省などと協力し、2010年10月の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の開催を契機に設立するものです。参加事業者は、生物多様性への取り組みを推進するため、参加事業者同士や経済団体・NGO・研究者・公的機関などさまざまな関係者と、ホームページやメールマガジンなどを通じ、情報共有や経験交流を図ります。

#### 【ご参考】

日本経団連ホームページ <http://www.keidanren.or.jp/japanese/news/announce/20100525.html>

### 2. 参加の目的

NKS Jグループは、CSR基本方針として、「生物多様性の重要性を認識し、資源循環や自然環境の保全に取り組むこと」を掲げています。

NKS Jグループは、「生物多様性民間参画パートナーシップ」への参加を通じて、永続的に生物多様性に配慮した活動を進めていくことを広く社会に宣言し、生物多様性に貢献する活動をNKS Jグループ各社自ら実践していくことを目的としています。

### 3. 今後の取り組み

NKS Jグループは、紙使用量の削減、間伐材の使用、全国各地での森林整備活動など環境負荷の低減や生態系に配慮した事業活動に取り組んでいます。

今後もステークホルダーの皆さまとともに、自然の恵みに感謝しながら、地域とのコミュニケーションや生物多様性の保全、自然の持続可能な利用を進めていきます。

#### 【ご参考】

(別紙1) 参加グループ会社一覧

(別紙2) NKS Jグループが考えるCSR（グループCSR基本方針）

(別紙1) 参加グループ会社一覧

|    | 会社名                      |
|----|--------------------------|
| 1  | NKS Jホールディングス株式会社        |
| 2  | 株式会社損害保険ジャパン             |
| 3  | 日本興亜損害保険株式会社             |
| 4  | エヌ・ケイ・システムズ株式会社          |
| 5  | エヌ・ケイ・プランニング株式会社         |
| 6  | エヌ・ケイ・リスクコンサルティング株式会社    |
| 7  | 株式会社インシュアランスマネジメントサービス   |
| 8  | 株式会社ジャパン保険サービス           |
| 9  | 株式会社全国訪問健康指導協会           |
| 10 | 株式会社損保ジャパン企業保険サービス       |
| 11 | 株式会社損保ジャパン・クレジット         |
| 12 | 株式会社損保ジャパン・システムソリューション   |
| 13 | 株式会社損保ジャパン情報サービス         |
| 14 | 株式会社損保ジャパン人財開発           |
| 15 | 株式会社損保ジャパン総合研究所          |
| 16 | 株式会社損保ジャパン代理店サポート        |
| 17 | 株式会社損保ジャパン・ハートフルライン      |
| 18 | 株式会社損保ジャパン・ビルマネジメント      |
| 19 | 株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス     |
| 20 | 株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント     |
| 21 | 財団法人損保ジャパン環境財団           |
| 22 | セゾン自動車火災保険株式会社           |
| 23 | 損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社    |
| 24 | 損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社 |
| 25 | 損保ジャパンDC証券株式会社           |
| 26 | 損保ジャパンひまわり生命保険株式会社       |
| 27 | そんぼ24損害保険株式会社            |
| 28 | 日本興亜エージェンシーサービス株式会社      |
| 29 | 日本興亜オフィスサービス株式会社         |
| 30 | 日本興亜キャリアスタッフ株式会社         |
| 31 | 日本興亜クレジットサービス株式会社        |
| 32 | 日本興亜情報サービス株式会社           |
| 33 | 日本興亜生命保険株式会社             |
| 34 | 日本興亜損害調査株式会社             |
| 35 | 日本興亜ビジネスサービス株式会社         |
| 36 | 日本興亜ホットライン24株式会社         |
| 37 | 日本興亜マリンサービス株式会社          |

※4以下は、五十音順

## (別紙2) NKS Jグループが考えるCSR (CSR基本方針)

NKS Jグループは、未来に向けた対話を通じてステークホルダーと積極的にかかわりあいながら、経営基本方針を踏まえ、高い倫理観のもと、国際的な行動規範を尊重し、気候変動や生物多様性などの環境問題、人権やダイバーシティ\*、地域社会への配慮などを自らの事業活動に組み込みながら、企業としての社会的責任を果たしていきます。

NKS Jグループは、120年に及ぶ歴史の中で培ってきた、保険事業を核とする本業の強みを活かし、これからも常に一步先を見据えて、お客さまに「安心、安全」を提供することで、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、新しい社会的価値の創造に挑み続けます。

\*ダイバーシティ (多様性) : 性別、年齢、国籍、人種、宗教等にかかわらずに多様な個性を持った人材を活かし、能力を十分発揮していくことが組織の目的の達成を可能にするという考え方

### 【CSR中期課題】

1. 安心・安全で持続可能な未来に向けて、新しい社会的価値を提供することにより、お客さまに選ばれる企業グループを目指します。  
特に、健康、医療、環境等をキーワードに社会的課題の解決のため、幅広いソリューションを提供します。
  - (1) 社会からの要請に応える保険商品・金融商品・サービスの開発・提供や投融資を実施します。
  - (2) 社会貢献活動のさらなる充実を図ります。
2. 気候変動や生物多様性などの環境問題への積極的な取り組みにより、先進的な環境経営を目指します。
  - (1) 自らの環境負荷低減に取り組み、グループをあげてCO2排出量を削減します。
  - (2) 生物多様性の重要性を認識し、資源循環や自然環境の保全に取り組みます。
  - (3) 環境に配慮した商品・サービスを提供するとともに、幅広いステークホルダーと連携しながらエコ安全ドライブの普及、事故時のリサイクル部品活用、グリーン購入、環境教育を通じた普及・啓発活動等を推進します。
3. ステークホルダーと積極的にかかわりあいながら、ステークホルダーの繁栄を支えます。
  - (1) 透明性の高い情報をわかりやすく提供し、ステークホルダーとの対話を重視します。
  - (2) 未来へ発展・深化させるために、社会の課題解決に向けたステークホルダーとの協働を促進します。